

冷温水『ろ過防錆装置』設置後の配管調査  
(経過年数 15 年)



(写真-1) 建物全景

(写真-2) 機械室



(写真-3) 冷温水ヘッダー



(写真-4) ろ過防錆装置



(写真-5) ファンコイル室



(写真-6) 空調機



(写真-7) 調査したファンコイル



(写真-8) ファンコイル内視鏡検査



(写真-9) 調査した空調機

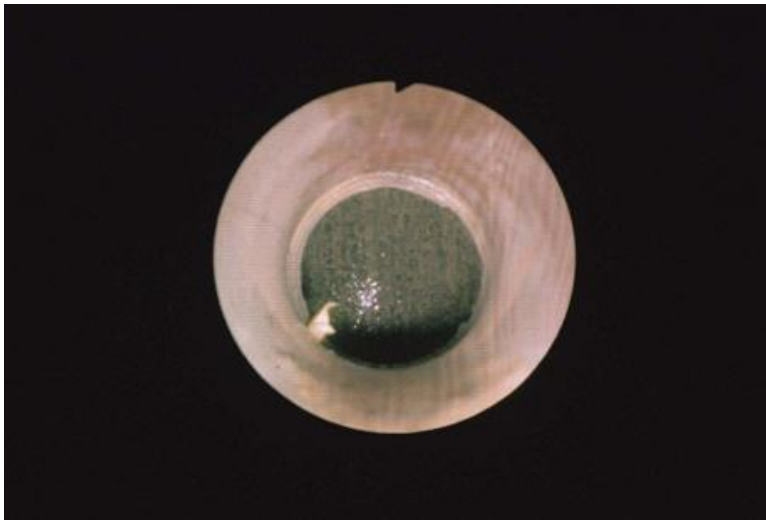


(写真-10) 空調機の内視鏡調査

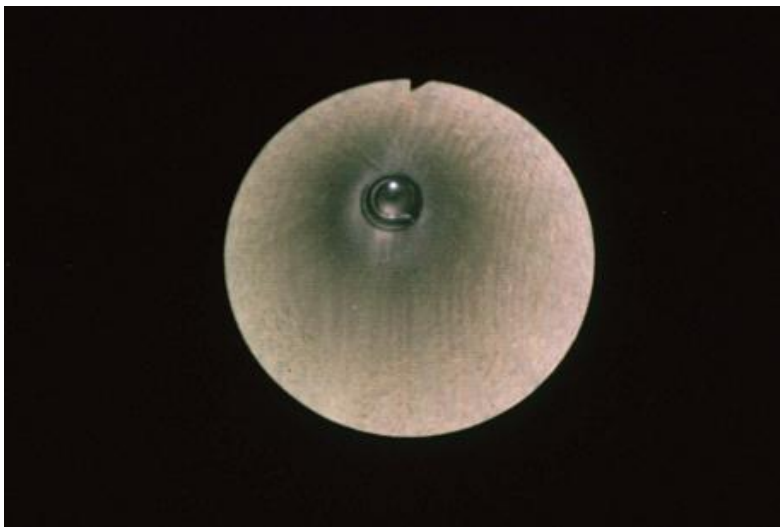


### 配管写真

(管内写真-1) 空調機配管(直管部)



(管内写真-2) 空調機配管(直管部)



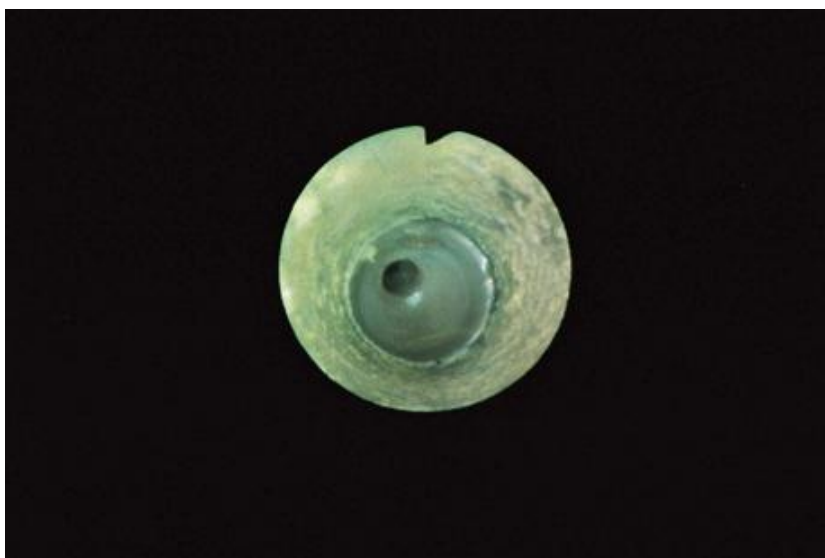
(管内写真-3) 空調機配管(チーズ部)



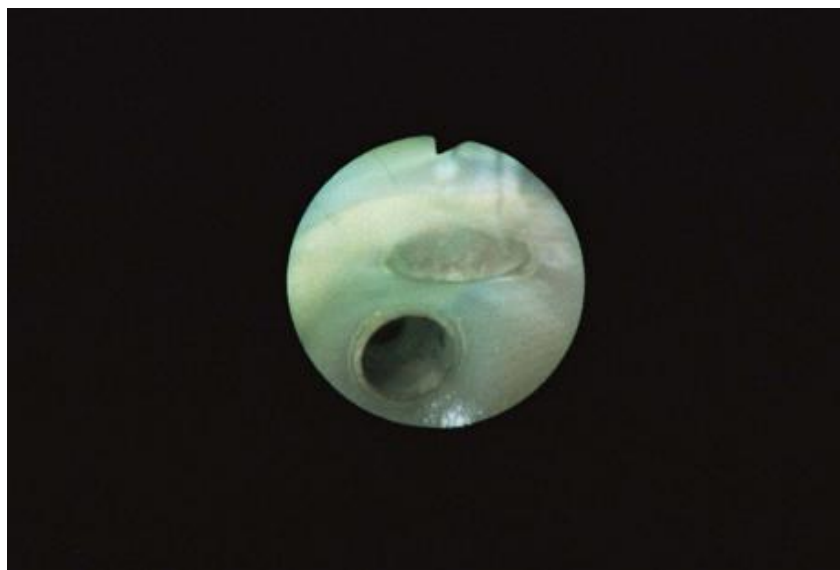
(管内写真-4) 空調機配管(エルボ部)



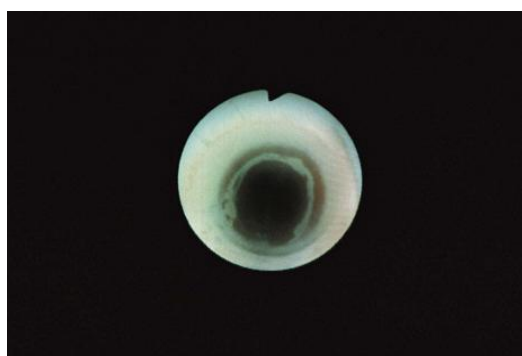
(管内写真-5) ファンコイル配管(ファンコイル接続部)



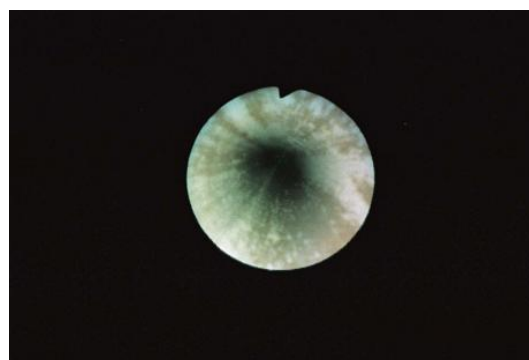
(管内写真-6) ファンコイル配管(ファンコイル接続部)



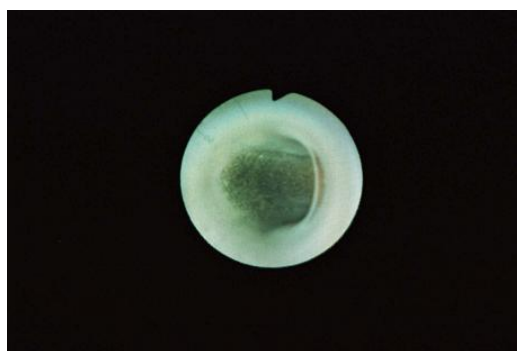
(管内写真-7) ファンコイル  
コイル入り口部



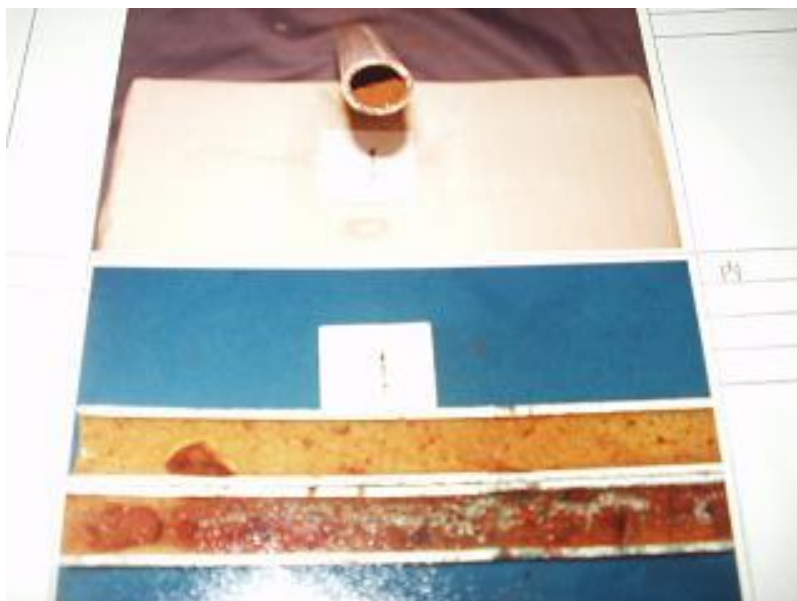
(管内写真-8) ファンコイル  
コイル中央部



(管内写真-9) ファンコイル (曲がり部)



参考（比較資料）15年経過したファンコイル系配管（20A）  
ろ過防錆処理なし（都内人形町・テナントビル、他資料より）



#### 所見

1. 空調機系配管は、中口径（65A）であるため閉塞はすくないものの、一般的には錆は発生し瘤が形成されるが、今回の調査では、溶接接合部を含め腐食はほとんど発生していない。
2. ファンコイル系は、錆瘤が不均一に生成され特にファンコイル接合継ぎ手に錆が多くなる傾向にあるが、今回の配管に錆は全く発生していない。極めて薄くスケールが付着しているが防食の観点からは望ましい範囲である。コイル内にも緑青や瘤の生成はみられない。